

だから俺は

異世界で

R-18
ADULT ONLY

春を告げる。



水球部の練習中
プールサイドで
突然の
落雷に打たれ

俺は
ただの
唯野
ジータ



ほち...

ん...?

気がつく

動物だらけの
異世界にいた



…へ？





ひと月後

なあ
聞いたか？

例の
『新人』の噂！



なんでも
異世界から来た
ニンゲン？
つっーサル族で

毛もなけりゃ
尻尾も牙も
ないらしくてな

一度抱いたら
そのツルツルな肌に
みんな病みつきに
なるんだと



俺は
どんな巨根でも
飲み込んじゃう
名器の持ち主だって
聞いたぜ？

どちらにせよ
ぜひとも一発
お手合わせ
願いてえな

どこの娼館の
新人だって？



ムーンライト
だよ



うん
もー最高♡

あッ
へへっ
相変わらず
いい声で
泣くよなあ

ズッ
ズッ
ズッ
ジんってやっぱ
俺のチンポ
大好きっしょ!?

ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ



くっ
この肌触り!

何遍
抱いても
たままない!!

俺もアンの
毛並み
大好き♡

マジかよ!
両思い
じゃん!!

じゃあさ!
じゃあさ!!

俺たち
オツキアイ
しちゃう!?

えー?
でもとっくに
突かれてる
けど

ちがっ!
交際しよう
ってこと!!

こう見えて俺
結構家庭的な
トコあるし!!

なんなら
同棲でも
OKだし...

ってあれ!
なんか急に
ケツが
締まっ...!?

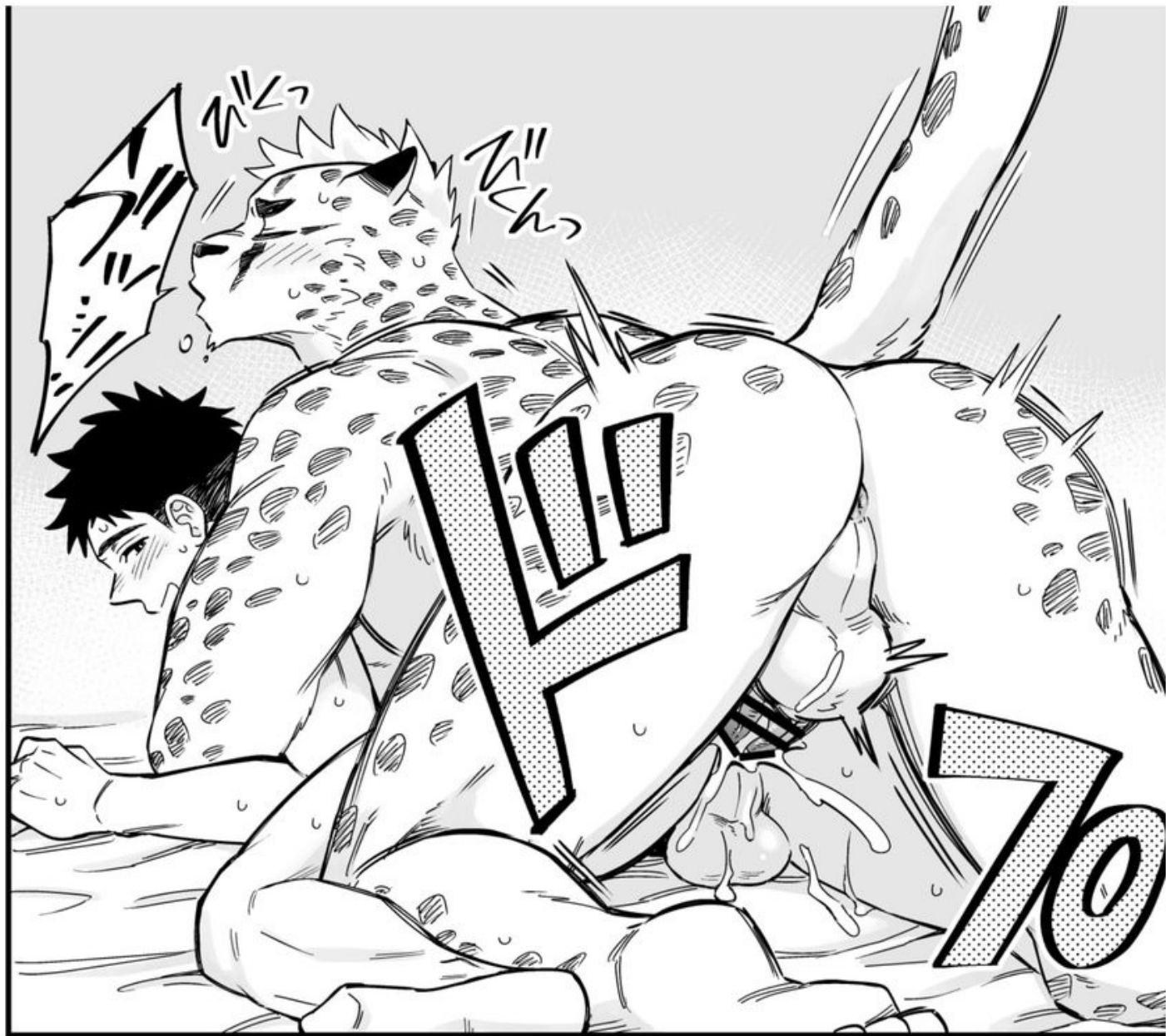


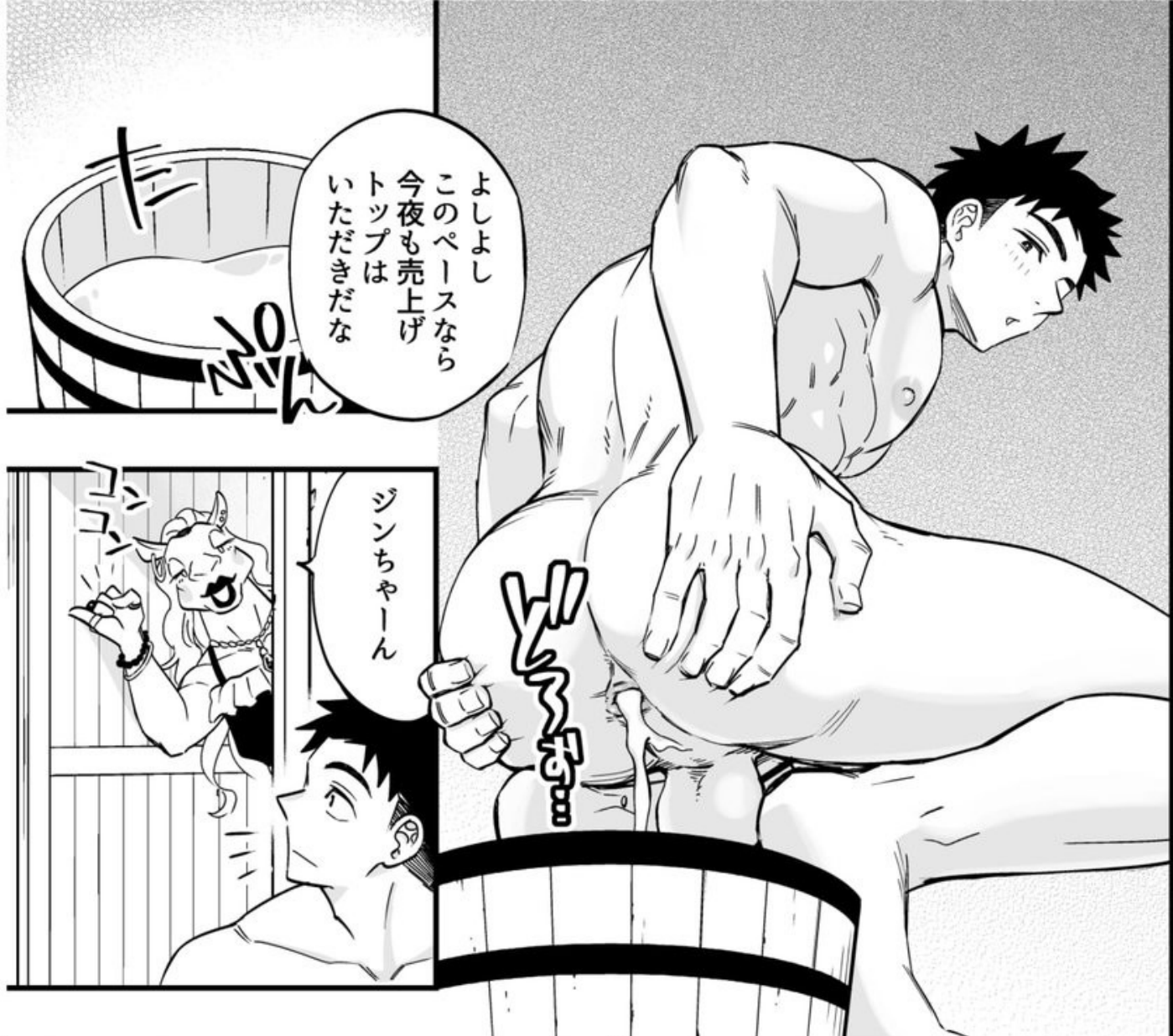
やばいよこれじゃ
すぐイっちゃう...!!

でっ...でも俺
もうちよつと
ジンと...っ

いいよ...
出して
俺の中に







よしよし
このペースなら
今夜も売上げ
トップは
いただきだな



ジンちゃん



OKっすよ
ママ!

じゃ
ご案内
するわね




もう次
イケる
かしらん?

今夜も
ジンちゃん目当ての
お客様が多くってエ




この
奇妙な世界に
飛ばされて
早一ヶ月



どうやらこの世界じゃ
ごく稀に異世界人が
現れるらしく


動物たちは
パニくる俺をなだめ
『長老様』のところに
連れてってくれた



長老のじいちゃんが
教えてくれたのは
元の世界に戻る方法が
あるかもしれないこと

でもその方法を
知ってるぽい
賢者とかいう人は
めちやくちや遠い
山の頂上に住んでて


辿り着くには
大金が必要だと
いうことだった



というのも
なんとこの世界には
怪物がいて

しかもこの町は
怪物の親玉である
魔王の城の
目と鼻の先らしく

町を出るには
魔王を護る鬼強な怪物を
倒せるほど鬼強な冒険者を
高額で雇わなきゃ
なんないからだ



とはいえ
異世界初心者で
一文なしの俺が
出来ることなんて
限られてるし

俺は
手っ取り早く
体で稼ぐことにした



気づけば
売上げ上位常連の
大型新人男娼に
なっていた

まあ最初は
オスとやる
なんて…って
思ってたけど
男娼仲間の
おかげで
負けず嫌いに
火がつき



なにツイッ
ツルツル
なんだけと
二んなヤツ
絶対
売れない
ってのw

ハッシー

ツルツルして
何が悪んだ
っの!!
ツルツルを
武器にする
ツルツルを
武器にする



おっ



女の子と
だなんて
贅沢は
言わないけど
たまには
カワイイ系
のお相手を…

あの…
すみません

オイ…



今じゃこの
ツルツルの噂を
聞いて来た客で
パンツ履く
暇もないほど
大盛況なのは
うれしーけど
来るのが揃いも揃って
ガタイのいい奴
ばかりってのがなあ

土地柄
冒険者の
剣士の

ちよんくん

えーっと…
はじめまして
だよな？

プレイの
リクエストとか
あるかな？

いえ…!!

…というか実は僕
こういうところ来的のも
こういうことするの

は…
初めて
で…!!



はっ
はい!!

じゃあ今日は
俺のお任せコース
ってことで

やん



か…
かわええ…!!

オラついた
連中の相手
ばっかだから
キyunキyun
しちゃうぜ

キyun

もじもじ



手？

ね
手かして



どう？
毛のない肌に
触れた感想は

あ...
すごい...
ですっ

すべすべで
しっとり
してて

不思議な
感触...!!

じゃ
次は
キミの番

あつ！





しゅん...

あの...もう
これで終わり...
ですよね?

!



がは!

すつすみません!
気持ちよすぎて
つい...!!

だ...大丈夫
大丈夫!

あー
死ぬかと
思った...!!



彼みたいなの
小柄な客には
あからさまに
塩対応する
男娼も少なくない

となると
一発の量が多い
大型動物を
相手にした方が
断然効率が
いいわけで



この
ムーンライト^店は
完全歩合制

この桶にどれだけ
客の精液を
溜められるかで
その晩の
稼ぎが決まる

どろろ...



終わり?
いやいや...

っーか
こんな上玉
フェエラだけで
帰してたまるか
ってんだ!!

俺は精子の量で
客を区別するほど
ケツの穴の小さい
男じゃないし

きっと彼も
それを知ってて
遠慮してる
んだろうけど









フン：大事なのは
サイズより
技術と
機能性

図体だけの
木偶の棒など
無駄に顎が
疲れるだけよ

チンポ……



どうだ？
俺のチンポは

小枝みてえな
犬公のと違って
しゃぶり甲斐が
あるだろ？



どっちが先に
俺を
イカセ
られるか

……とかさ♡



なんだと
こんの野郎……
表出ろい!!

いいだろう
受けて立つ



あーもう
いい加減に
しろよ!

喧嘩するなら
この場に相応しい
方法でしろっての!!

相応しい
方法？

そーだよ
例えば……



乗った!!

その勝負





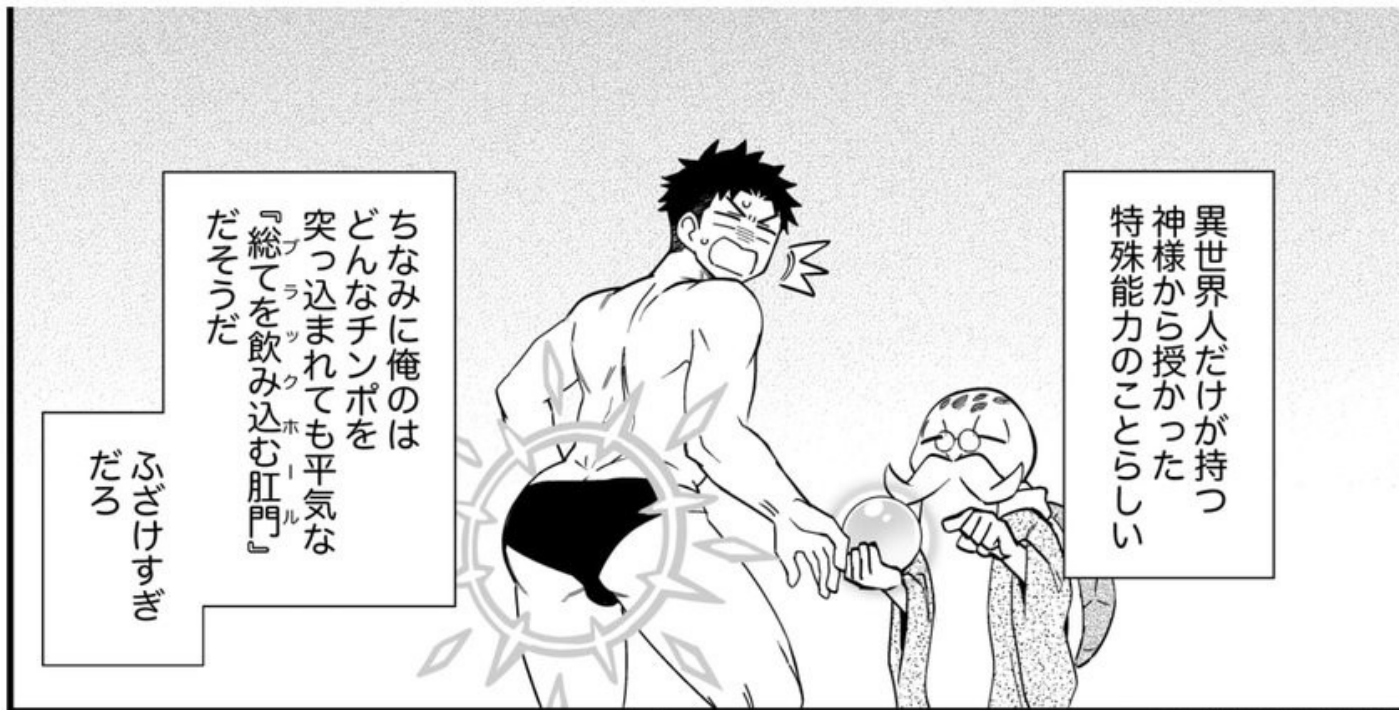
い…いきなり
突っ込むのは
ルール違反
でしょ!!

ぬう…しかし
これ以上
お預けを
喰らうのは…

しつけの
悪い
ワン公だな

ったく…
俺に
『スキル』が
なかったら
今ごろ肛門が
真っ二つだぜ

スキル
ってのは



異世界人だけが持つ
神様から授かった
特殊能力のことらしい

ちなみに俺のは
どんなチンポを
突っ込まれても平気な
『総てを飲み込む肛門』
だそうだ

ふざけすぎ
だろ



ズン



くっ…!!
中で
ワン公のと
擦れて…っ

一本の時より
気持ちいい
……!!

まあでもこないだ
サメ男相手に
無傷で済んだのは
スキルのおかげか

しょぼん...

ある日突然
放り込まれた
異世界生活

戸惑ってばっかだし
元の世界が恋しくて
たまらないけど

今度また
ケンカしたら
出禁だからな!!

うじうじ
してたって
仕方ねーし

今は
やることを
やるだけだ

わかって
くれたんなら
よし!

この異世界を
去る日を夢見て
俺は今夜も
精を出す

：まあ実際に
精を出すのは
動物たちだけだよ

じゃ
またのご指名
よろしく♡

発行 ■ 土狼 弐
発行日 ■ 2022年10月1日
印刷 ■ 栄光 様
連絡先 ■ d_raw_2@mail.goo.ne.jp
pixiv ■ 483431
Twitter ■ @d_raw_two

無断での転載・複製・配布、
インターネット上へのアップロードは禁止です。
未成年の購入及び購読、
及び転売目的での購入はご遠慮ください。